

(4)

前年度の重点目標		(1) 主体的に学び、表現する力を伸ばす指導 (2) 関係機関と連携した研修・相談の充実	
項目	担当	具体的方策	評価結果と課題
主体的に学び表現する子の育成	小学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校や児童の実態に合った教育課程編成をする。</li> <li>外部講師を活用し、地域社会との関わりを通じた授業を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育課程Bで授業実践と児童の実態把握、検討を行った。来年度より特別の教科である道徳の授業を週1時間起す。また、二種類の指導形態を設定することで、より児童の実態に合った教育課程編成を行うことができた。</li> <li>ALT講師による授業を年4回実施した。外国語に親しむことや異なる教育課程の児童の関わりを深めることができた。</li> </ul>
	中学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒一人一人のコミュニケーション方法の確立に努め、コミュニケーション指導の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害の重い生徒のコミュニケーション指導について部内で研修を行い、一人一人のコミュニケーションの方法について各学級で検討した。</li> <li>各教室に生徒のコミュニケーション表を掲示し、一人一人に合わせたコミュニケーションを重視した授業を展開した。授業での自己選択・自己決定の機会を更に増やし、より主体的な学びにつなげていくことが課題である。</li> </ul>
	高等部	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒一人一人に合わせたICTの活用をし、分ける授業の実践で、学習内容の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほとんどの学級でICTを活用した授業が行えた。教育課程Cの「朝の会」では一日の流れを提示することで、落ち着いて過ごせることが増えた。職員同士でICTを利用した授業に実際に参加したり、見に行ったりすることができ、授業に活用できた。全ての保護者への啓発は難しかったが、多くのクラスで授業の様子などを懇談会で提示することができた。</li> </ul>
	潮風教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>就労する上で必要な力について「人間関係力」「作業力」などの複数の領域、項目に分けて整理したチェックリストを作成し、個別に実施する。</li> <li>チェック結果を生かして個別の指導計画を作成、活用しながら、キャリア教育の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作成したチェックリスト「潮風教室就労アセスメント」を個別に年3回実施しながら、領域や項目について再検討した。</li> <li>チェック結果をケース会等で情報共有した。個別の指導計画作成や進路指導に役立てて、キャリア教育の充実を図った。チェックリスト実施時期や回数は再検討し、今後も活用していく。</li> </ul>
	教務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立活動を主とした教育課程において、各教科と自立活動の目標設定に至る手続きの違いを踏まえ、児童生徒の実態に応じたよりよい教育課程の編成をする。</li> <li>各教科や各教科等を合わせた指導において、学習指導要領の各教科の指導目標の達成に迫る授業を行うために、各教科で育成する資質・能力を明確にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学部から高等部までの系統性を考えた上で、児童生徒の実態に応じた教育課程を編成するため、次年度の校内研究を通して全校で検討していく計画を立てた。</li> <li>校内研究を通して、他校で作成している学習段階表などを収集し、小学部1段階の前段階を含む本校版の各教科の目標内容一覧の試案や目標設定から評価の仕方の例文を作成した。次年度の校内研究を通し、活用と改善を行う予定である。</li> </ul>
	教育情報部	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒がICTを活用しやすい環境を整え、学習活動の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>放送室、情報処理室のICT機器及び周辺機器の精選、整理を行った。古い機器や使用していない機器を廃棄した。</li> <li>職員アンケートを実施し、ICT機器のニーズを確認した。購入については来年度の予算に必要なものから実施する。</li> <li>ICT支援員によるTeams、Formsの夏季研修を行った。QRコードの作り方、視線入力の操作方法について等のマニュアルを作成した。</li> </ul>
	進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路に関する学習を通して、児童生徒の長所の把握をし、進路選択の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実習の評価表(段階表)や巡回指導記録を用いて、生徒の長所や個々の課題を明確化し、適切な進路先を検討した。</li> <li>児童生徒の障害や能力、適性に合った進路選択の充実を図るために小中高の移行時に活用できる段階表を再検討していく。</li> </ul>
	図書部	<ul style="list-style-type: none"> <li>マルチメディアデザイン図書を活用した読書活動の充実を図る。</li> <li>授業で活用しやすく探しやすい本の配架を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マルチメディアデザイン図書に関する研修を新転任教員対象に4月に実施した。</li> <li>季節、行事のおすすめ本の配架を行った。</li> <li>図書の廃棄方法を見直し、150冊以上の不要図書の廃棄作業を行った。新着図書コーナーの配架方法を工夫したりした。</li> </ul>
	図書部	<ul style="list-style-type: none"> <li>マルチメディアデザイン図書を活用した読書活動の充実を図る。</li> <li>授業で活用しやすく探しやすい本の配架を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マルチメディアデザイン図書に関する研修を新転任教員対象に4月に実施した。</li> <li>季節、行事のおすすめ本の配架を行った。</li> <li>図書の廃棄方法を見直し、150冊以上の不要図書の廃棄作業を行った。新着図書コーナーの配架方法を工夫したりした。</li> </ul>
友達を尊重し助け合う子	山嶺教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>山嶺高等学校との交流を年間計画に位置付け、お互いを知る機会を設定する。</li> <li>インクルーシブ教育の基盤をつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高等学校の各学年主任等と話し合い、交流及び共同学習の日を決め、年間指導計画に位置付けた。早めに予定日の把握ができたことにより、両校の生徒が主体的・計画的に協力して会を進行できた。</li> <li>体育と音楽で月に交互に交流を実施した。多様な価値観に触れる中で、相手を認めることや思いやることを大切に活動できた。文化祭では心を合わせて合唱発表ができた。</li> </ul>
	指導部	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権週間に生活委員会が主催する人権集会を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>12月4日に人権集会を行った。集会では「手拍子を合わせよう」「ハイタッチ自己紹介」の活動を行い、友達を大切にすることや友達と一緒に活動することを学んだ。</li> </ul>
	指導部	<ul style="list-style-type: none"> <li>「とよまつ学防災の日」を実施し、避難訓練や防災学習、一斉下校訓練などに取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>11月22日に「とよまつ学防災の日」として防災学習を行った。豊橋市防災危機管理課と連携し、起震車体験、煙体験、消火器体験、避難所体験、防災講話を行った他、防災クイズ、防災パネル等を用意し、児童生徒が個々の実態に応じた学習をした。一斉下校訓練では、一斉下校時の帰宅方法を確認した。</li> </ul>
健康を意識する生活	寮務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>寄宿舎防災学習会において、避難生活体験や防災クイズ、防災バッグの活用法について学び、防災に関する知識を身に付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>11月21日に「寄宿舎防災学習会」として防災学習に取り組んだ。避難生活体験では、テントの中に入り、テント内の生活スペースが狭いことに気が付いた。防災グッズの確認では、説明だけでなく、実際に体験しながら確認する機会を設定することも検討していく。</li> </ul>
	保健部	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校事故防止に向けた啓発運動の充実を図る。</li> <li>緊急時における適切な対応の実現を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故やヒヤリハットの情報を集約し、部会で報告したりグループウェアに載せたりして、職員間で情報共有を図り、再発防止への啓発ができた。</li> <li>職員向けに緊急時の初動訓練を年2回実施した。各部に分かれての訓練に加えて、部を超えて協力し合うことができるように様々な想定で訓練を行った。</li> <li>「子どもの様子がいつもと違う」と相談したいときに、職員を集めることを目的とした放送について積極的に啓発できた。</li> </ul>
	研修部	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員のニーズを把握し、校内研修の充実を図る。</li> <li>校内研究の改善と充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内夏季研修では10講座を実施することができた。参加人数が多い研修では対面よりモトの両方を使用し、効率よく実施できた。また、アンケートに基づいて内容を設定することができた。</li> <li>校内研究では、グループ・テーマの決定時期を2週間延ばしたことで、検討する時間を設けることができた。校内研究報告会では、昨年度までの発表形式に加え、展示や実践を披露する場を設けた。</li> </ul>
高い専門性をもつ教師	自立活動部	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立活動アドバイザーを中心に、自立活動に関する研修や相談を積極的に行う。</li> <li>関係機関と連携し、自立活動に関する研修、相談の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内での自立活動相談は23件、校外は33件実施した。年度初めに集中したが、目標や活動内容を確認するのに役立った。</li> <li>校内の学習会では42名が参加し、年間6回の実施で継続して学ぶことができた。</li> <li>夏季研修では全体研修1講座、任意研修5講座を実施した。特に外部専門家活用事業による研修では、実技や交えた基礎的な内容が受講者に好評であり、追加の研修も実施した。得た技術や理論を授業や日常で活用する様子が見られた。</li> </ul>
	教育支援部	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内での相談の流れを職員へ周知し、挙げられたケースについては、複数の職員で改善策を探る。</li> <li>継続的に支援ができるように、専門性の高い教師につなぐとともに、相談内容を整理して校内外の職員研修に活かす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校関係者が外部機関と連携できるように、手順を紹介したり、担当者に同席したりして、共に今後の方針を検討するケースが数件あった。</li> <li>小中学校からの相談を整理し、支援部より発行した校内の職員に紹介した。肢体不自由教育勉強会の個別相談の助言を依頼した教員には、助言に役立てられるように過去の相談資料や書籍等を紹介した。助言をすることで、勉強になったという意見があった。</li> </ul>
	管理職	<ul style="list-style-type: none"> <li>全職員に人権についてのチェックシートを配布し、自己点検を行う。その結果をもとに面談を実施する。</li> <li>人権に関する研修を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不祥事防止チェックシートの中で、人権に関わる内容について自己点検をした。</li> <li>豊橋市人権擁護委員会啓発部と連携し、「職場の人権について」のテーマで研修を実施した。当日は80名程度が参加し、資料については全教職員に配布した。</li> </ul>
高い人権意識の向上	管理職	<ul style="list-style-type: none"> <li>全職員に人権についてのチェックシートを配布し、自己点検を行う。その結果をもとに面談を実施する。</li> <li>人権に関する研修を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不祥事防止チェックシートの中で、人権に関わる内容について自己点検をした。</li> <li>豊橋市人権擁護委員会啓発部と連携し、「職場の人権について」のテーマで研修を実施した。当日は80名程度が参加し、資料については全教職員に配布した。</li> </ul>
	総務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>共用する場所や物品の整理整頓を行い、物の有効活用ができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏季休業中に廃棄文書棚の整理や、主に行事で使用する白布、国旗、校旗の保存の仕方を改善し、使用しやすくなることになった。</li> <li>文章での表示や掲示等を工夫できる箇所があると思われるので、今後はその部分の改善もしていきたい。</li> </ul>
信頼される教師	管理職	<ul style="list-style-type: none"> <li>多忙化解消に向けた業務改善に取り組む。</li> <li>チェックシートの活用や事例をもとに、不祥事防止の意識の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分掌ごとに業務のスリム化や他の分掌との統合・連携について意見を集約し、次年度に向けて業務内容の入替や分掌の統合を実施する。</li> <li>不祥事防止チェックシートを活用し、簡易の面談を実施したり、年間を通して不祥事の事例を周知する機会を設けたりした。</li> </ul>
	管理職	<ul style="list-style-type: none"> <li>多忙化解消に向けた業務改善に取り組む。</li> <li>チェックシートの活用や事例をもとに、不祥事防止の意識の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分掌ごとに業務のスリム化や他の分掌との統合・連携について意見を集約し、次年度に向けて業務内容の入替や分掌の統合を実施する。</li> <li>不祥事防止チェックシートを活用し、簡易の面談を実施したり、年間を通して不祥事の事例を周知する機会を設けたりした。</li> </ul>
学校関係者評価を実施する主な評価項目		(1) 一人一人に合わせたコミュニケーション指導の充実(中学部) (2) 関係機関と連携した自立活動に関する研修・相談の充実(自立活動部)	